



JAくしろ丹頂
広報誌

vol.150

2020.4

くしろ丹頂

良質乳出荷農場を表彰

JAくしろ丹頂酪農振興会 2019 酪農祭



左から 對木会長、筈崎さん、伊深さん、井上さん、千葉専務

CONTENTS

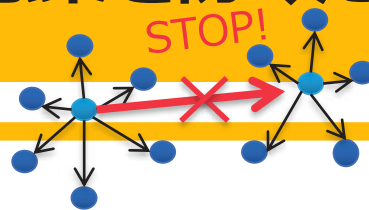
- 新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために — 1
- 農場において新型コロナウイルス感染者が発生した場合は — 2
- 酪農振興会「酪農祭」 — 3
- 鶴居村タンチョウフェスティバル — 4
- 第48回家畜人工授精優良技術発表全国大会 — 5
- 「発情判定の重要性の再確認」 井上 望 — 6～8
- 海外酪農視察研修報告 — 9～15
- 普及センターだより — 16
- JAグループ通信 — 17
- 未来を拓く協同組合/今月のミルクレシピ — 18
- ちょっと一息あたまの体操「まちがいさがし」 — 19
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 退職者 — 20
- ゴールデンウィーク日程表 — 21



女性部員手作りのおいしい「豚汁」をどうぞ!
鶴居村タンチョウフェスティバル

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために

感染拡大を防ぐために



国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

<感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは

感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆ これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆ 一方、**スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テント**などでは、**一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。**

このように、集団感染の共通点は、特に、

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

- ◇ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。

農場において 新型コロナウイルス感染者が発生した場合は

感染者等発生時の対応について

(1) 感染者等の対応

- 事業主は、本人及び家族、従業員に感染が確認された場合は、その旨を保健所に報告し、対応について指導を受けてください。また、**消毒作業や搾乳作業、飼料給与作業等への支援内容や支援人員の手配をするため、必ず農協（本所営農部、支所営農課）にも連絡して下さい。**

(2) 濃厚接触者の対応

- 濃厚接触者に該当した時点で、自宅待機とする。
- 事業主は、保健所が濃厚接触者と確定した家族及び従業員に対し、14日間出勤を停止し、健康観察を実施してください。
- 濃厚接触者の定義は下記参考のとおりとする。

感染者が発生した場合の農協の対応

(1) 施設等の消毒の対応⇒農協が手配を行います。

- 保健所が必要と判断した場合には、感染者が作業した区域の消毒を実施致します。
- 施設等の消毒については、農協や各地区の自衛防疫組合等を中心に実施致します。

(2) 業務の継続⇒農協が手配を行います。

- 搾乳作業、飼料給与作業等は毎日欠かすことが出来ないことから、各地区の酪農ヘルパー組合等に作業を依頼します。

※参考

【濃厚接触者の定義】

濃厚接触者とは、下記（１）（２）に該当する家族及び従業員とする。

(1) 同居者

感染者と同居する者

(2) 感染予防策なしに感染者に接触した者

感染者が発症（発熱・倦怠感・呼吸困難）した日以降に、手で触れること又は対面で会話することが可能な距離（※）で、必要な感染予防策（マスク着用）なしで、感染者と接触があった者とする。※（目安として2メートル）

酪農振興会「酪農祭」開催

～ 酪農講演会・良質乳出荷農場を表彰 ～



渡邊誠治 講師



2月19日、鶴居村総合センターで当JA酪農振興会主催の「酪農祭」が開催されました。
組合員及び関係者合わせて58名が参加し、よつ葉乳業(株)十勝主管工場 酪農部主任技師 渡邊誠治氏が講師となり「酪農現場の3M(ムダ・ムラ・ムリ)をなくす」季節の変わり目に発生する疾病の原因と対策」と題して講演が行なわれました。～春(立春)～低力ルシウム血症が原因となる疾病として①乳熱(腰抜け)②第4胃変位

良質乳出荷農場表彰式では、平成31年1月～令和元年12月出荷乳量に対する体細胞数・生菌数が優秀な7農場が表彰されました。本年度におかれましても良質乳出荷に向け、ご協力の程よろしく願い致します。

③後産停滞④逆子⑤子宮捻転等。～夏(立夏)～①水溶性の下痢の発生②脚の腫れ③蹄葉炎④乳房炎等に対しそれぞれの原因及び対策について詳しく説明頂き、会員の皆様からも質問が出されるなど学ぶことの多い有意義な講演会となりました。



表彰される笹崎さん、井上さん

良質乳出荷表彰農場

(体細胞数の部)

最優秀賞	音別	笹崎昌行農場
優秀賞	音別	中川浩幸農場
優秀賞	白糠	(合)伊深ファーム
努力賞	白糠	松野貢農場

(生菌数の部)

最優秀賞	鶴居	井上元嗣農場
優秀賞	白糠	太田理夫農場
優秀賞	音別	大和田清一農場



皆さんビンゴで景品をゲットしました!





JA YOUTH

美味しさを皆様へ 青年部鶴居支部「根釧牛乳」をPR!!

～ 鶴居村タンチョウフェスティバル ～



根釧牛乳をぜひどうぞ!!

2月9日、鶴居村総合センター前庭で、第33回 鶴居村タンチョウフェスティバルが開催されました。

多くの来場者で賑わう中、JA青年部鶴居支部は、根釧牛乳の無料試飲を実施し、菱沼恭平支部長は、「今年も鶴居村商工会青年部と合同で根釧牛乳をPRし、多くの皆様方に美味しさを知ってもらいたいという強い思いで取り組んでおります。今後も部員達と協力し、根釧牛乳の消費拡大活動を継続してまいります。」と意気込んでお



タンチョウ ウルトラクイズ つるぼーも参加

りました。

JA女性部鶴居支部は、「豚汁」を販売し、長尾朋子支部長は、「寒い中、体もあたたまる豚汁を皆様方に食べて頂きたく部員達と心を込めて作りしました。これからも若い部員達とも協力しつつ女性部活動を次の世代へと継承していきたいです。」と話して頂きました。

会場では、タンチョウ鳴き声コンテスト、タンチョウ耐寒競技など多くのイベントが行なわれ、大盛況のうちに終了しました。



極限の戦いをみせたタンチョウ耐寒競技



鳴き声コンテストでは高得点続出!

「西川賞」の栄冠に輝く!! 第48回 家畜人工授精優良技術発表全国大会

発表題目 「発情判定の重要性の再確認」～妊娠牛の摘発～

畜産生産部 家畜改良課 家畜改良係 井 上 望



2月14日、東京で日本家畜人工授精師協会主催の家畜人工授精優良技術発表全国大会が開催され、当J A家畜改良課 井上 望係が釧路家畜人工授精師協会技術研究部会を代表し、また北海道の代表として研究発表を行ない、最高位となる西川賞を見事受賞致しました。

この技術発表は、昨年10月に帯広で開催された第75回北海道家畜人工授精技術大会で釧路家畜人工授精師協会技術研究部会10名（うち当J Aから2名、井上望、齋藤和香菜）の代表として発表し、全道で30題の研究発表があつた中、全国大会の代表となる3団体のうちの1団体に選ばれ、今回の西川賞受賞に至りました。

研究の契機となったのは、「なぜ受胎していても発情徴候を示す牛がいるのか」という疑問から、釧路管内において再授精を依頼された牛の中に受胎している牛がどの程度存在しているのかを技術研究部会のメンバーで調査し研究すべく検査結果等を分析しました。64農場、再授精依頼のあつたホルスタイン延べ2,931頭を調べた結果、人工授精を中止した牛が703頭、そのうち受胎していた牛は320頭（11%）という結果となり今回の受賞につながったものです。（研究発表の内容は次頁より掲載）

本人からは、「今回の受賞は組合

員の皆様方やメンバー、各関係機関の方々のご協力なくしてはありえなかったものですし、私達に関わって頂きました方々全員の力で受賞できたものであると考えており、ご協力頂きました皆様方には大変感謝しております。今回の経験を活かし日々の授精業務に励んで参りたく、ご協力の程よろしくお願い致します。」と今後の抱負も含め話して頂きました。





発情判定の重要性の再確認 ～妊娠牛の摘発～



発表者：井上 望

北海道 ○井上 望 自井 志 若森 隆浩 中村 綾那 森本 将平
高畠臣太郎 小山内克尚 齋藤和香菜 藤井 諒也 牧野 恵亮

(釧路家畜人工授精師協会技術研究部会)

I. はじめに

2000年にコーネル大学のスターマンらは、授精された牛の19%が黄体期または妊娠していたと報告している。また、妊娠している牛に誤って授精した場合には、17%が早期胚死滅や流産したと報告している。演者らの直腸検査においても、授精すべきかどうかを迷う牛があり、その中には受胎が疑われる牛も存在することを日常的に経験している。実際に判断を誤り人工授精を行うこともあることから、再授精依頼牛の直腸検査は慎重に行う必要がある。

そこで、演者ら釧路家畜人工授精師協会技術研究部会では、「なぜ受胎している牛が発情徴候を示す牛がいるのか」という疑問から、釧路管内において再授精を依頼された牛の中に受胎している牛がどの程度存在しているか調査用紙を

用いて調査した。

II. 材料および方法

1. 調査期間…平成30年12月1日から令和元年5月31日
2. 調査対象…釧路管内のJAおよび共済組合が人工授精を実施している64農場で飼養され、調査期間内に再授精依頼のあったホルスタイン種経産牛延べ2,931頭である。
3. 調査方法…再授精依頼のあった経産牛を授精実施牛と授精を中止した牛（以下、中止牛）に分け、中止牛の卵巢と子宮の所見、確認された発情徴候を調べた。また、中止牛を対象に90日ノンリターン（NR）による受胎の有無を確認した。

III. 結果

図1には、再授精依頼牛における授精実施牛と中止牛の割合を示した。再授精依頼のあった2,931頭のうち、

授精実施牛が2,228頭（76%）、中止牛が703頭（24%）であった。中止牛のうち、受胎していた牛は320頭であり、その割合は再授精依頼牛の11%であった。

図2には、中止牛の内、再授精依頼時に不受胎だった牛（以下、不受胎牛）の直腸検査における卵巢所見別の割合を示した。機能性黄体が23頭（11%）、退行黄体が43頭（11%）、授精適期にはステージの早い卵胞が46頭（12%）、排卵後が28頭

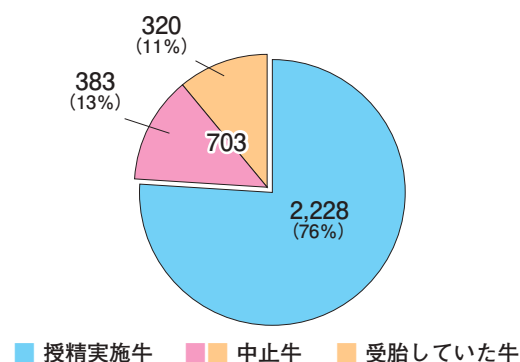


図1 再授精依頼牛における授精実施牛と中止牛の割合

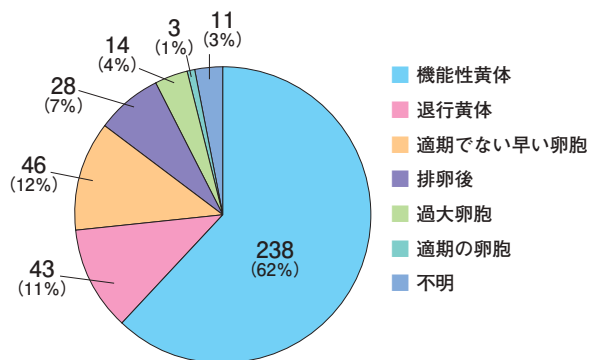


図2 再授精依頼時の不受胎牛の直腸検査による卵巣所見別の割合

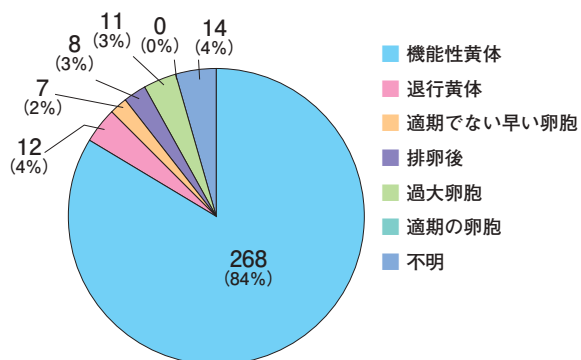


図3 再授精依頼時の受胎牛の直腸検査による卵巣所見別の割合

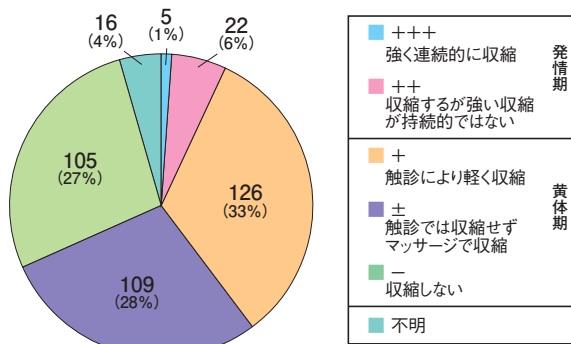


図4 再授精依頼時の不受胎牛の直腸検査による子宮所見別の割合

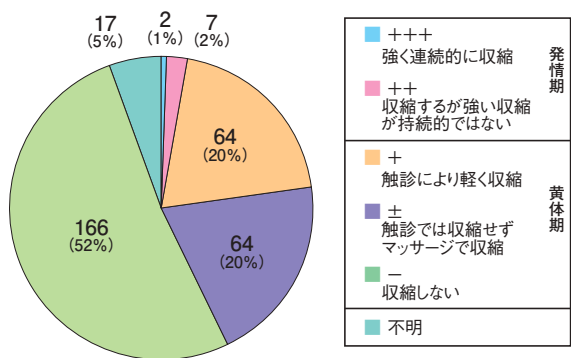


図5 再授精依頼時の受胎牛の直腸検査による子宮所見別の割合

図3には、中止牛のうち、再授精依頼時に受胎していた牛（以下、受胎牛）の直腸検査による卵巣所見別の割合を示した。機能性黄体が268頭（84%）、退行黄体が12頭（4%）、授精適期にはステージの早い卵胞が7頭（2%）、排卵後が8頭（3%）、過大

卵胞が11頭（3%）、授精適期の卵胞が0頭（0%）、不明が14頭（4%）であった。図4には、不受胎牛の直腸検査による子宮所見別の割合を示した。通常の発情期にみられる子宮収縮所見のスリープラスが5頭（1%）、ツープラスが22頭（6%）、通常黄体期にみられる子宮所見のプラスが126頭（33%）、プラスマイナスが109頭（28%）、マイナスが105頭（27%）、マイナ

（27%）、この他不明が16頭（4%）であった。図5には、受胎牛の直腸検査による子宮所見別の割合を示した。子宮収縮スリープラスが2頭（1%）、ツープラスが7頭（2%）、プラスが64頭（20%）、プラスマイナスが64頭（20%）、マイナスが166頭（52%）、この他不明が17頭（5%）であった。図6には、授精依頼時に生産者によって確認された受胎

牛の発情徴候とその割合を示した。スタンディング行動が50頭（16%）、マウンティング行動が46頭（14%）、粘液の漏出が43頭（13%）、咆哮が22頭（7%）、挙動不審が144頭（45%）、歩数計などの機器による発情徴候の確認が82頭（26%）であった。挙動不審および機器による発情徴候の確認の割合が他の発情徴候と比べて高かった。図7には、再授精依頼時の

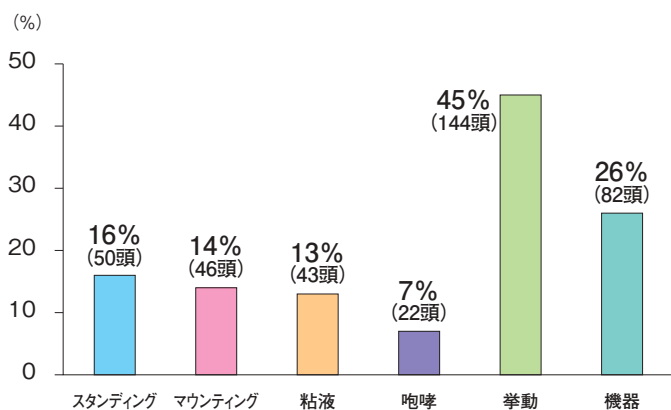


図6 再授精依頼時の受胎牛の発情徴候別等の割合

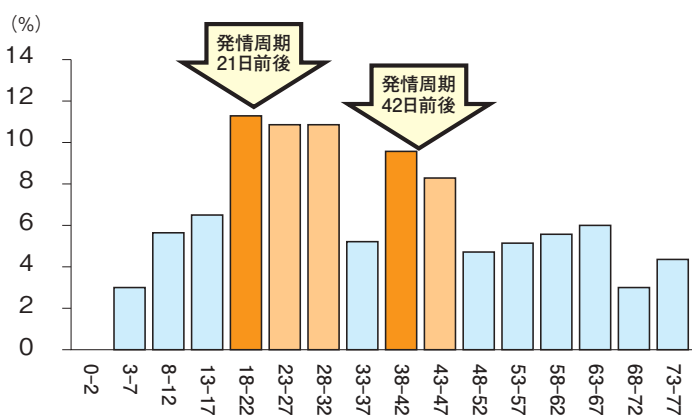


図7 再授精依頼時の受胎牛の前回授精時から再授精依頼時までの日数別の割合

受胎牛の前回授精日から再授精の依頼があった日までの日数別の割合を示した。前回授精後18～32日、38～47日での再授精依頼の割合が高く、特に牛の正常な発情周期と言われる21日前後および2周期目にあたる42日前後の授精依頼の割合が高かった。

Ⅳ. 考察およびまとめ

本調査では、再授精依頼さ

れた全雌牛の24%が中止牛であり、11%が受胎牛であった。スターマンらの研究では全体の16%が中止牛であり、このうちの44%（全体の約7%）が妊娠していたと報告しており、今回の調査結果では同じような傾向が確認された。

再授精依頼された牛で受胎していた牛の92%が黄体期と推察される子宮所見であった

ことから、直腸検査による子宮の検査の重要性が確認された。一方で、受胎牛のうちの16%の牛では明瞭な機能性黄体が所見できず、3%の牛では発情期にみられる子宮の収縮があった。また、正常な発情周期に合った授精依頼が多かったことから、生産者の発情観察の意識の高さが伺える半面、発情周期を越えてからの授精依頼も多いことから、発情発見精度が不十分であることも推察された。授精依頼時の発情徴候である挙動不審が45%、歩数計などの機器による発情徴候の確認が26%と高い割合を示し、挙動不審や歩数計などによる発情観察システムに基づく再授精依頼が多いことから、正常な発情周期であれば明瞭な発情徴候が確認できない場合でも再授精の依頼を行う可能性があることを推察された。

受胎牛であっても、次の発情時期に発情徴候を示し、直腸検査では明瞭な機能性黄体が所見できず、発情期の特徴である強い子宮収縮がある牛は、誤って人工授精する可能性が高いと推察される。誤って受胎牛に人工授精を実施すると流産を引き起こす場合があることがスターマンら（2000）によって報告されており、再授精を依頼された牛の中には受胎牛がいるかも知れないということを常に意識し、慎重に直腸検査を実施することが重要であると考えられる。

以上のことから、受胎牛への授精を回避するために、授精技術者は正しく授精の適否を判断するとともに、十分な発情観察と正確な稟告が重要であることを生産者にしっかりと伝える必要がある。



第48回 カナダ ホルスタイン酪農と ロイヤル・ウィンター・フェア視察

海外酪農視察研修 報告

畜産生産部 家畜改良課 家畜改良係長

菅 田 喜 之



令和元年11月4日から7日
間、北海道ホルスタイン農業
協同組合とデイリーマン社で
企画されているカナダホルス
タイン酪農とロイヤルウィン
ターフェア視察に参加しまし
たので報告致します。

今回の海外研修では、ケ
ベック州モントリオール周辺
の3農場とオンタリオ州トロ
ント近郊の1農場への農場視
察、ナイアガラ滝の見学と
北米最大のロイヤルウィン
ターフェアを視察しました。

北海道ホルスタイン農業協同
組合の澤田礼二氏に団長を務
めていただき総勢33名のツ
アーでした。

カナダは1867年に建国
されたまだ歴史の浅い国です
が、世界2位の国土面積と世
界最長の海岸線を誇り10州と
3つの準州から成り立ってい
ます。今回訪れたケベック州

モントリオールはカナダの三
大都市の一つでもあり、この
州だけがフランス語が第一言
語になっており町中の道路標
記など全てフランス語で標記
されていました。ケベック州
だけでも日本の5倍の面積が
ありますが人口はわずか85
0万人で、モントリオールの
人口は170万人です。次に
訪れたオンタリオ州トロント
は、英語が第一言語でこの州
の面積は日本の3倍で人口は
1250万人です。

トロントも同じく三大都市
の一つで人口は550万人
(北米4位)で、トロント中
心部を張り巡る高速道路の通
勤時間帯はかなりの渋滞が発
生していました。トロントを
横断する高速道路は片側12車
線もありますが、本線(トロ
ントを通過する車線では途中
で降りることが出来ない)と



(トロント市内の高速道路)



(左：モントリオール 右：トロント)

複線(トロント市内で出入り
出来る車線)に完全に分かれ
て、渋滞緩和を図っていました。



11月5日

【ブロンディ牧場】

現在7代目が牧場を営み、（息子の8代目が繁殖担当）牛舎を1年半前に約3億円で新築しました。この牧場は200年前に先代が入植し、ホルスタイン種の登録を始めたのは3代目からと最近の事だと言っていました。祖父の代では40頭の搾乳牛でしたが、現在は搾乳牛250頭を12頭ダブルのパラーを使用（年間個体平均乳量10,000kg・脂肪率4.6%・タンパク率3.5%）、未経産500頭を所有し優秀な血統から採卵を行っています。年間約900個（150回／年で1回平均6個回収）の受精卵を作り販売にも力を入れているとの事でした。この牧場では分娩後と体型審査前に正確な体型を把握する為全頭の毛



（大量に敷かれた砂）



（通路には溝切りはないが砂が滑り止めとなる）

刈りを行い、体審90点を超える牛が40頭以上いますが、その牛達は積極的に販売に向いているそうです。また、牛床



（梁が隠れるような施工で鳥が止まらない様に工夫されている。更に屋根は断熱され、エアーカーテン（右写真）をつけることで冬-30度でもフリーストール内は凍結しない。）



には大量の砂が敷かれていて、肢の滑り止めや肢蹄病と乳房炎の予防になるとの事でした。農地においては、1000

エーカー（約400ヘクタール）の草地に1/3グラスサイレージ1/3コーンサイレージと残りの1/3で大豆を収穫し主にアジアに輸出し、乾燥飼料は年間1,000個のビッグベールを購入するそうです。草の収穫作業は全てカスタムワーカー（専門職）に委託し、従業員は牛の飼養管理に徹していました。

【バルビソン牧場】

2家族の共同経営で北米・日本の共進会などで活躍している名種雄牛、バルビソン・ドアマン・Eターを輩出した牧場です。共同経営者の一人である女性はカナダホルスタイン協会の副会長で次期会長の予定だと聞きました。現在65頭の搾乳牛を飼養し（年間平均乳量12,000kg 脂肪率4.3% タン

パック3.4%) タイトストール用搾乳ロボットで50頭を1日3回搾乳、残りの15頭を既存のパイプラインで1日2回



(タイトストール用搾乳ロボットと小型餌押しロボットの導入で労働の負担を軽減する。)

搾乳を行っています。400エーカー(約162ヘクタール)の農地を所有し1/4は輸出用の大豆を作付け、残りはグラスとコーンサイレージを収穫しています。この牧場も乾燥飼料は仕上げるまでの手間を省く理由で全て購入しています。

「ジレット牧場」

個体生涯乳量のギネス記録(生涯乳量24万kg・11産したが雌の出産は1頭のみで残りの10頭の雄は種牛(牧牛)として利用)を持つホルスタイン牛を所有した牧場で、現在は兄弟3人の家族経営でその1人のエリックさんが農場案内をしてくれました。

初代の経営者はフランスから入植し牧場名は5代目の名前(ジレット)が由来していて、また歯科医であるエリック

“ジレット E スマーフ (EX)”



(左：世界記録を更新した時のポスター 右：生涯乳量のギネス記録)

クさんの祖父は定年後のプランとして全財産をこの牧場に投資したそうです。タイトストール牛舎120頭、フリー

バーン牛舎440頭(無登録牛)と初産牛だけの牛舎60頭を1日3回搾乳で年間平均乳量10,500kg 脂肪4.3% タンパク3.6%の成績を残しています。草地は1,300エーカー(約520ヘクタール)を所有しグラスとコーンサイレージを主に収穫し、乾燥飼料は購入するそうです。

この牧場は共進会に力を入れていましたが改良により牛が大きくなり過ぎた為2、3年前から牛の出品を中止しました。現在は高能力で健康な牛作りを目指して種雄牛はカナダのLPIではなくアメリカのTPIを基準に中型サイズで乳量と管理形質を重点に選びヤングサイアも積極的に使用しています。未経産と初産に使用する精液の95%は性判別精液を使用し後継牛を取



(左：280L入るミルクタンク)



中：スーパーハッチ



右：カーフハッチでの哺乳1頭1日6L～10L)

10月6日

【サミットホルム牧場】

現経営者 ベン ルイス氏は
大学では社会学を専攻し卒業
後はトロントで3年間会社員
として働き、その後稼業であ
る酪農業へ転職しました。学
生時代は酪農に全く興味がな
かったそうです。この牧場の
先代は1938年にチエコス
ロバキアから移民しましたが、
当時は鉱山が農業もしくは林

り、2産目以降は肉用種（主
にアンガス）をメインに使用
して販売に向けるそうです。
哺乳牛舎には45個のカーフ
ハッチが並べられて、生後35
日までは個別飼育されていま
す。その後65日までは8～10
頭の群に分けられ、離乳は65
日で冬の寒さ対策にはハッチ
にいる子牛にカーフジャケット
を着せるだけだそうです。

業のどれかに従事する条件で
カナダへの移民が許可され、
初代ルイスさんは農業を選ん
だとの事でした。現在は49
0頭の搾乳牛を1日3回搾乳
で日量平均乳量45kg 脂肪
4.0% タンパク3.2%
で、牛の産子数を増やすこと
で乳量アップを図っていまし
た（初産平均乳量10,500kg
3産目平均乳量14,300kg）。

所有農地面積は850エー
カー（約344ヘクタール）
でグラス・コーンサイレージ
やアルファルファなどを4番
草まで収穫し、すべての作業
はカスタムワーカーに委託し
て年間利用料は約35万ドル
（3,300万円）に及ぶそ
うです。

サミットホルム牧場は3家
族の共同経営で、6人の正職
員と15人のパートタイム従業



(右：この農場も牛舎に梁がなく鳥が止まらない様に工夫されている 左：よく踏み込まれていたサイレージ)

員で構成され、正職員の給料は年間700万〜750万円、週休1日制と年間3週間の休暇が与えられるそうです。

パートタイム従業員は時給18ドル（1600円〜1650円）で、主に搾乳、仔牛の給餌と場内の芝刈りでした。

分娩牛舎は4つに仕切られて分娩予定日順に各15頭ぐらいの群に分けられていました。

分娩前の牛のストレス軽減の為、そのグループの全頭が群を変えることなく分娩を迎えることで分娩トラブルはほとんどないとの事でした。更に牧場ではミッシュンステイトメントを掲げ全従業員が経営理念を共有し、あらゆる問題が発生した時の対応、処理や原因を究明し再発防止に努めていました。

11月7日

「ナイアガラ」の滝見学

ナイアガラはカナダオンタリオ州とアメリカニューヨーク州の国境沿いにあり北アメリカ最大規模で、滝はカナダ滝（幅675m落差56m）、アメリカ滝（幅260m幅57m）とブライダルベール滝（幅15m落差55m）と3つに分かれています。

世界三大瀑布の一つと言われていますが、滝の水量が人工的にコントロールされ、また周辺にカジノなどの娯楽施設が隣接されている理由から世界遺産に申請はされていません。この滝は最終氷河期の終わり約1万年前に形成され、流れる水量は夏が毎秒290万ℓ冬が毎秒140万ℓで、この水の流れて浸食が進みずればナイアガラはなくなると言われています。





11月7日～8日

【ロイヤルウインターフェア】

ロイヤルウインターフェアは11月1日から10日間に渡って開催される世界最大級の農業祭で、ホルスタイン種部門でブラック&ホワイトシヨウと受精卵などのセールを視察しました。また、会場内はホルスタインのシヨウのみならず、馬術の競技、羊の毛刈り、乳牛の搾乳の体験や乳製品・肉製品やジャム・バターなどの農産物を競う農業コンテストも行われていました。更に、施設内には農機具や自動車の展示や様々な物品の販売もあり畜産関係以外にも多くの家族連れなどで大変賑わっていました。

ブラック&ホワイトシヨウはアイスホッケー会場であるシカゴコーラ・コロシウムで開催され、出品頭数は未經



(左：左の牛 グランドチャンピンに輝いたアイディーウインドブルック リンジー 右：チャンピオン戦)



(12万ドルの値がついたアンダーグラウンド アデライン号)



(毛刈りの様子)



(畜舎の様子)



(ホルスタイン種ブラック&ホワイトショウ)

産クラスが262頭、経産クラスが144頭でした。未經産の部ではドアマン、アバランチ、ユニクス、ソロモン、サイドキックの娘牛が多く出品されて、また数は少ないながらダイヤモンドバックRCの娘牛の活躍も目立っていました。経産牛でもドアマンが圧倒的に多く、次いでアバランチ、ゴールドウイン、ソロモン、ゴールドチップと日本でも同じ顔ぶれでした。今年、ロイヤルはオープン戦でしたが、牛のフレーム、肢蹄や乳房の形状は当然素晴らしく特に調教の完成度に驚かされました。

ショーの途中にアメリカとカナダの順で国歌斉唱の時間が設けられて、その間リンク内で立ち止まった牛はまるで整列したかの様でした。クラスの間には酪農家やブリー

ダーに賞が与えられる時間も設けられていて、今年はホルスタインの改良に長年に渡って貢献したコムスター農場などが受賞していました。

グランドチャンピオン戦では音楽が流れる中、照明が落とされスポットライトを当てられた各クラスのトップの牛が堂々と歩く姿が大型スクリーンにも映されていました。グランドチャンピオンが決まる前の緊張感、決まった瞬間の感動が会場全体を包み込み盛大な歓声や拍手が響き渡りました。

【海外視察を終えて】

今回の視察を通して、カナダでも今後予想される国際競争力強化に向けて農場の作業や牛の管理体制の改善を図る姿を直接見る事が出来ました。訪問した4農場の共通点は草

の収穫作業は全て専門業者に委託し、農場従業員は牛の飼養管理・観察に徹していました。また、ロイヤルウインターフェアでは様々な催しが同時に開催されていました。街では、トロントが田舎になる日」と書かれたポスターを見かけました。

先にも触れましたが、トロントはカナダ最大の都市であり、その町の中心部で10日間もの間農業祭が行なわれ、カナダでは農業がいかに大切にされているかが伺えました。

共進会での牛とリードマンの技術の高さ、またショー全体を楽しめる会場を視察できたことはとても良い経験になりました。この視察の機会を与えてくれた事に深く感謝し、得た知識を今後の業務で生かしたいと思います。



普及センターだより

釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

飼料用とうもろこしの安定栽培のために

釧路中西部管内において、飼料用とうもろこし（以下コーン）の栽培面積は10年前と比較して約44%も増加しました。理由として5月から9月までの平均気温が2010年代で約1℃上昇したことや配合飼料価格の高止まり等が挙げられます。

しかし、コーンの収量は、その年の気象条件等に左右されやすい特徴があります（図1）。今回、収量安定対策の1つとして肥効調節型肥料（※）について試験結果を交えて紹介します。（※）すぐに吸収されず、分解を作物

の吸収パターンに調整した肥料



図1 コーン乾物収量の推移(中西部管内)

生育停滞と追肥

H30年は、6月下旬から7月中旬にかけての長雨により、養分の流亡が起これ、その後、生育が停滞しました（図2）



図2 長雨の影響

本来は、状況に合わせて追肥を実施することがR1年の試験場の成績からも推奨されています。しかし、トラクターの踏み倒しによる枯死なども考えられ、実践される方はいらっしゃいません。

そこで、今回、追肥と同じ効果がある資材として、被覆肥料について試験しました。

被覆肥料について

被覆肥料は、溶けやすい肥料にポリウレタン樹脂で尿素をコーティングしたものです。特徴は、①温度に反応して溶ける②土質やpHの影響を受けないと言えます。

被覆肥料の溶けやすい部分だけ先に溶出し、その後、コーティングされた窒素分が温度に反応して溶出していくという作用機序になっています。

試験結果

今回、収量性は差がありませんでした（図3）。

しかし、ほ場外周のすす紋病罹患程度には差は見られました（写真1）。R1年は、長雨こそありませんでしたが、生育後半の窒素切れを被覆肥料によって回避できる可能性が今回の結果から示唆されました。

また、他地域において、長雨の影響があったH30年で、被覆肥料により約12%の増収があるという報告もあります。

以上のことから、リスク回避や追肥の労働軽減の面で、活用も検討できると考えます。



写真1 ほ場外周のすす紋病罹患程度の違い（低い方がよい）

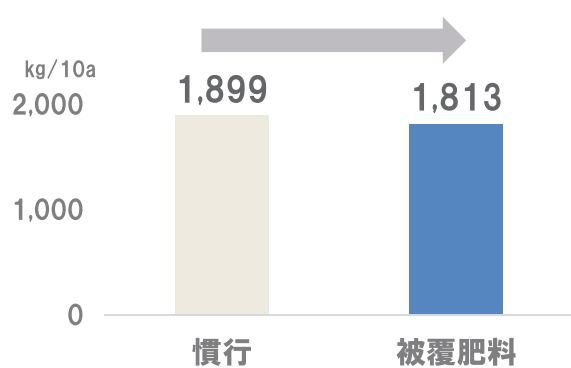


図3 乾物収量

コーンの安定栽培技術は他にも色々あります。ご興味のある方は是非、普及センターまでお問い合わせ下さい。



JA北海道中央会、ホクレンは「新型コロナウイルス対策に関する農林水産省北海道現地対策本部（対策本部長：伊東農林水産副大臣）」と3月9日に新型コロナウイルスに関する対応策について意見交換を実施いたしました。

意見交換会ではJA北海道中央会の飛田会長より、生産者に感染者が出た際の農作業への影響や学校給食の休止に伴う生乳の需給問題、外国人技能実習生の入国遅延などの課題解決に向けた対応を国に求めました。

伊東副大臣からは、農業者など1次産業の従事者が感染した際の対応策を示す重要性に触れ、「生産現場向けガイドラインを示し、感染防止、風評被害の払拭に努めたい」との発言がありました。

JAグループ北海道としても引き続き、組合員の営農及び生活を守るため、組合員に感染者が生じた際の対応や北海道産農畜産物の消費拡大に向け、各作目別対策本部及び北海道農政事務所等と連携して参ります。



JA北海道信連



北海道日本ハムファイターズでは、ウィンタースポーツに楽しむ子どもたちが増え、北海道の活性化に貢献することを目的に、ウィンタースポーツの競技・活動団体に対する助成事業「ゆきのね奨励金」を実施しています。JAバンク北海道もこの考え方に賛同し、令和元年度より当事業に協賛をしています。当年度は道内9地域・7競技の11事業に対して支援を行いました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道では、令和元年度の交通安全活動への積極的な取り組みが評価され、北海道警察より感謝状が授与されました。今年度は「自動車交通安全教室(スケアード・ストレイト)」、「全道小中学生交通安全ポスターコンクール」をはじめとして全13の活動を実施しております。くるまの保障を取り扱うJA共済では、交通事故を一件でも減らすために、これからも交通安全活動によって地域住民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない社会づくりへ貢献していきます。



ホクレン



ホクレンの「スポーツ応援米」を活用し、北海道スポーツ協会主催にて「きたえーるトップアスリートチャレンジ」が1月12日に札幌市にて開催されました。

ホクレンは同商品の売り上げ1kgにつき1円を同協会に寄付し、スポーツ振興に役立てており、同イベントでは小学1～4年を対象とし、北海道日本ハムファイターズのスペシャルアドバイザー田中賢介さんらトップアスリートを招いて、様々なスポーツ体験にチャレンジしました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介し、各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。





未来を拓く協同組合

SDGsとJA

監修—JCA(日本協同組合連携機構)



SDGsとは

近年、SDGs(エスディージーズ)という言葉が世界中で注目を集めています。SDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称で、2015年に国連で採択された国際社会の共通目標です。貧困や飢餓、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

協同組合はこれまでも貧困や飢餓などの問題に取り組んできたことから、国連によりSDGsを達成するための重要な組織として位置づけられています。JAグループは第28回JA全国大会で、自らの事業・活動がSDGsの達成に貢献するものであることをふまえて、JAグループの取り組みの成果を広く発信することを決めました。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

SDGs17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



全国のJAや生協など協同組合が取り組む主な実践例

- 2 飢餓をゼロに 国内における農林漁業の振興と食料の安定供給、こども食堂・フードバンクの運営、移動購買
- 3 すべての人に健康と福祉を へき地医療の提供、高齢者・障がい者等のケア事業、介護予防活動、子育て関連事業
- 11 住み続けられるまちづくりを 移動購買の実施、助け合い活動、災害救助活動
- 12 つくる責任つかう責任 食の安全確保と情報提供
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう 国内外における協同組合間の連携

…など

JCA監修「1時間でよくわかる SDGsと協同組合」をもとに作成



新ぞう、大地と地域の未来。

今月のミルクレシピ



粉を牛乳で溶いて自然の甘みをプラス

あさりのにらのスパイシーお焼き

カレーとチーズ♡味の相性抜群です

【作り方】

- ① あさは塩水で振り洗いし、さっと湯通しして水けをきる。にらは3cmの長さに切る。
- ② ボウルにAを混ぜ合わせ、あさり、にら、ピザ用チーズを加えて混ぜる。
- ③ フライパンにサラダ油大さじ1/2を熱し、②の1/8量を4枚分流し入れて丸く広げる。中火で2-3分焼き、下側が固まったら裏返してこんがりするまで焼く。残りも、同様に焼く。

※ポン酢しょうゆ、トウバンジャンなど好みのたれをつけて。



材 料(2人分)

あさり(むき身)	90g	卵	2コ
にら	1/2ワ	塩	小さじ1/5強
〈A〉			
カレー粉	小さじ1	こしょう	少々
小麦粉	80g	ピザ用チーズ	40g
牛乳	180ml	サラダ油	大さじ1/2

◎高齢者の低栄養を予防して健康長寿を

高齢者は食事量が少なくなり、特に肉や乳製品などの動物性たんぱく質の摂取が減って、低栄養になりがち。低栄養状態は老化を進め、免疫力の低下を招きます。牛乳で良質なたんぱく質を毎日補給して健康長寿を!

※Jミルクホームページより転載

まちがいさがしにチャレンジ!!

～ちょっと一息～ あたまの体操のコ～ナ～



右のイラストには左のイラストと違う部分が5ヶ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。

今回の答えは5月号に掲載するよっ!!

3月号の答え

1 2 7 9 12

1 ドアノブが違う 2 棚のストーンが1個少ない 7 ナンバーが違う
9 ちり取りにリボンが付いている 12 足先の角度が違う

おめでとうございます!! 3月号の当選者

・中田 航空 さん・田井 紘花 さん・不藤 佑希菜 さん

まちがいさがし 4月の答え

--	--	--	--	--

住所

氏名

電話番号

ご意見や季節のつぶやきなどの一言をお寄せください。

ペンネーム ()

応募者の個人情報は厳正に管理し本応募以外の目的には使用しません。

・正解者3名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。

なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》 左下の部分を本所 企画管理係までFAX (0154-64-2315) をいただくか、切り取っていただき各支所の総務係迄お渡しください。

《締め切り》 2020年4月20日まで

当選者の発表は5月号にて発表します。

プレゼントのお渡しは郵送にて発送いたします。

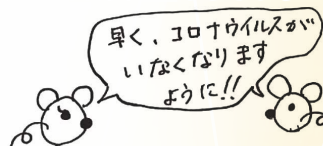
・つぶやきコーナー

たんちょうの発行楽しみにしてます。(Nさん)

何時終息するやらコロナウイルス!!牛にもコロナウイルスは有りますよ!!家は昔出ました血便で大変でした!!コロナワクチンも牛用はあります!!皆さん気をつけましょう

(ニャンコバーバさん)

キリトリ



(すーちゃん)

ドカ雪には参りましたがもうすぐ春です。コロナウイルスなんかに負けるのか! (アッコさん)

苦税でコネクトルームのお泊り代 (Nさん)

3月初め春が近いとおもいきや、大雪で大変でした。(Yさん)

鶴居も大雪になったけど、悪い事が良い事なのか、今年も春を待って良き牧草が取れますよう祈っています。(S.Mさん)

コロナはやくおさまってほしいです。(Yさん)

外であそびたいから早くしんがたコロナウイルス、おさまってほしいです。(そうちゃん)

大雪のあとに大雨。おぼれそうです。(ココ&くろさん)

新型コロナウイルスの影響で休校になっていますね…。

たくさん牛乳を飲みましょう!! (Tさん)



理 事 会 報 告

2月定例理事会 令和2年2月28日(金)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 1月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 農家経済4K（管理・改善・効果・向上）プロジェクトについて
6. 委託内部監査の報告について

- 議案第8号 目的積立金の目的取崩について
 議案第9号 特定組合員に係る特別運用基準の対象者について
 議案第10号 役員報酬審議会委員の欠員に伴う補充について
 議案第11号 農業委員会委員の選任について
 議案第12号 従業員に対する年度末賞与の支給について

付議事項

- 議案第1号 組合員の資格審査について
 議案第2号 出資の減口承認について
 議案第3号 融資の承認について
 議案第4号 令和2年度監査計画の策定について
 議案第5号 固定資産の取得について
 議案第6号 諸規程等の一部変更について
 議案第7号 諸規程の制定について

その他協議事項

1. 令和元年度決算処理方針（案）について
2. 令和2年度事業計画（案）について
3. 機構改革について
4. 金融効率化店舗への移行について
5. Aマートに係る収支計画等について
6. 新型コロナウイルス感染症に係る当面の対応について
7. 当面の業務日程について

■令和元年度	生乳生産実績（2月）			
	月計乳量（kg）	2月前年比（％）	累計乳量（kg）	累計前年比（％）
JAくしろ丹頂	8,177,655.5	105.4	93,095,366.1	100.2
鶴居地区	3,128,882.6	105.5	35,378,813.5	102.1
幌呂地区	2,171,450.9	108.0	24,548,171.3	102.4
白糠地区	1,561,014.3	100.3	18,224,268.0	98.6
音別地区	1,316,307.7	107.2	14,944,113.3	94.5
管内計	42,791,494.4	106.0	487,271,512.0	101.0
（前年度管内計）	40,362,700.9		482,399,215.7	

大変お世話になりました。

金 井 大 和

音別支所 購買課生活係

3月31日をもって退職しました。

編集後記
EDITOR'S NOTE

□ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、I O C（国際オリンピック委員会）は、東京五輪・パラリンピックの延期を発表しました。1年程度の延期で新型コロナウイルスのパンデミックが沈静化、感染リスクが低下し終息宣言が発表されるかを疑問視し、非常に不透明で難しいと分析する専門家の方々の意見も聞きます。最凶ウイルスの撲滅に向け、日本全国では様々な対策が講じられ、最善と思われる取り組みが日々行なわれております。今、私達が出来る事を一人一人が考え、今後日々の生活に支障をきたす事態とならないよう継続した対策及び対応が求められております。



JAくしろ丹頂ホームページ



JAしろ丹頂 ゴールデンウィーク日程表

年月日	各 地 区 の 事 務 所				販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管 理	共 済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居：幌呂 白糠：音別			
令和4年 4月29日(水)							通 常 業 務			
4月30日(木)					一般市場(初生トクのみ)					
5月1日(金)										
5月2日(土)										
5月3日(日)										
5月4日(月)										
5月5日(火)					初 生 集 荷					
5月6日(水)										

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
令和4年 4月29日(水)											
4月30日(木)											
5月1日(金)											
5月2日(土)					*						
5月3日(日)											
5月4日(月)											
5月5日(火)											
5月6日(水)											

*午前中のみ営業となります。

営 業 日 休 業 日

・ゴールデンウィーク期間中もJAバンクのキャッシュカードは各種コンビニ等でご利用いただけます。

※稼働時間、手数料はATMにより異なります。

・万一、交通事故が発生した時は、

JA共済事故受付センター

事故等の場合には

ジコは クミアイ

0120-258-931

JA共済サポートセンター

レッカー移動や故障時の
応急対応が必要な場合には

レッカーロードサービスは クミアイ

0120-063-931

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからでもご利用いただけます。

電話料金は無料です。 公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。